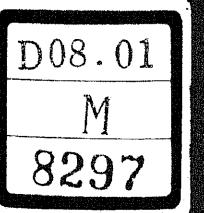


日本圖書館

文庫

中卷

昭和10年
(1935)



日本圖書館

九二

鋼橋

中卷



三浦七郎著

名著100選圖書

登録	昭和43年3月1日
番号	第 8297 号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

東京

常磐書房版

1935

目 次

第一章 電弧鎔接	1
第一節 総論	1
第二節 用語	2
第三節 電弧鎔接の原理	5
1 総論	5
2 炭素電弧鎔接	6
第四節 電極棒	7
1 総論	7
2 鎔接試験	8
第五節 設計	9
1 剪力に對する計算	9
2 剪力と同時に力率が作用する場合の計算	10
3 断面の減少を考慮する場合の計算	11
4 許容應力	12
5 細目	13
6 鎔接研究會示方書案	18
7 鎔接部の最大應力	23
第六節 I 柄の繼手	24
1 柄端の連結	24
2 輪延柄の固定繼手	27
3 輪延柄の鉸繼手	38
第七節 飯柄の繼手	43
1 総論	43
2 突縁と腹飯との鎔接	45
3 腹飯の補剛	49

4 腹板の継手	50
5 突縁の継手	52
第八節 實 例	58
第九節 計 算 例	62
第二章 單 構 橋	84
第一節 單構橋の種別	84
1 總 論	84
2 種 別	84
第二節 構の應力算定法	88
1 断面法及格點法	88
2 代數的解法	88
3 圖式解法	91
4 一般的解法	93
第三節 各種構の應力	94
1 總 論	94
2 弦に最大應力を生ずる活荷重の位置	94
3 腹材に最大應力を生ずる活荷重の位置	95
4 最大及最小應力	98
第四節 實 例	98
1 プラット・トラス	98
2 キングポスト・トラス	99
3 クイーンポスト・トラス	99
4 ワーレントラス	100
5 バルチモアートラス	101
第五節 最大活荷重應力	114
1 腹材の最大應力	114
2 弦の最大應力	116

第三章 綾 構	118
第一節 綾構の作用	118
第二節 橫構の形	119
第三節 橫荷重の作用	119
第四節 橫荷重應力	121
1 下路橋	121
2 上路橋	121
第五節 應力の算定法	122
1 平行弦の横構	122
2 曲弦の横構	122
第六節 橋門構	124
1 橋門構の形狀	124
2 應力の算定法	124
3 鋼桁橋門	127
4 格子橋門	128
5 筋違を有する橋門	129
6 隅控橋門	130
7 橋門效	132
第七節 對傾構	132
第四章 曲線上に於ける橋梁の應力及 縱荷重に因つて生ずる應力	135
第一節 總 論	135
第二節 曲線上に於ける橋梁の應力	137
1 列車重量の作用	137
2 遠心力の作用	137
第三節 縱荷重に因つて生ずる應力	138

第五章 單構の設計	140
第一節 主構及主桁の選擇	140
1 主構及主桁の最大支間	140
2 上路橋と下路橋	140
3 銀構とピン構	140
4 單腹と複腹	140
5 構の形	141
6 構の高及格間長	143
第二節 設計總則	144
1 構部材の断面積	144
2 設計上の要件	146
第三節 單構の細目	148
1 銀結構の部材断面	148
2 ピン結構の部材断面	156
3 部材の造成	158
4 部材の縫手	168
5 格點の構造	169
6 フヒーレンデール・トラス	195
7 反り	197
第四節 鎔接構	198
第六章 ポニイ・トラス抗壓材の挫折安全度	201
1 總論	201
2 エンゲツサーの解法	201
3 框構の有する實際の框構剛度 A の解法	203
4 プライヒの解法	208
5 米獨の規定	210
6 計算例	211

第七章 床及床構	215
第一節 總論	215
第二節 道路橋の床	216
1 橋面	216
2 橋床	223
3 腹材に依る歩道の中斷	235
4 橋面の排水	235
5 床の断續	238
第三節 鐵道橋の床	240
1 開床	240
2 閉床	244
3 脱線防護	248
第四節 橋臺上の連結	249
第五節 床構	255
1 總論	255
2 縱桁	256
3 縱桁を横桁上面に取付くる構造	258
4 縱桁を横桁の腹板に取付くる構造	260
5 縱桁の断續	264
6 橫桁	267
7 橫桁の取付	269
8 道路橋の特殊床構	278
第八章 端承	282
第一節 總論	282
第二節 表承	283
第三節 搖承	286
1 固定承	286

2 可動承	296
第九章 親柱と高欄	308
第十章 單構橋の實例	315
第十一章 單構橋の鋼重	324
1 總論	324
2 鋼重	324
第十二章 單構橋の計算實例	337
第一節 一般寸法	337
第二節 床版	338
1 荷重	338
2 曲率	339
3 剪力	339
4 使用斷面	339
第三節 縱桁	340
1 車道縦桁	340
2 歩道縦桁	341
第四節 橫桁	342
1 死荷重應力	342
2 活荷重應力	342
3 斷面の決定	344
第五節 主構	349
1 死荷重應力	349
2 活荷重應力	355
3 部材の斷面	370
第六節 橫構	378
1 荷重	378

2 應力の計算	378
3 上横構の應力及斷面	379
4 下横構の應力及斷面	381
第七節 橋門構及對傾構	382
1 橋門構	382
2 對傾構	385
第八節 細部設計	385
1 綴板及綾片	385
2 部材の接合	390
3 端支承	396
第九節 挠度及反り	398
1 結構構造物の挠度	398
2 死荷重による挠度	399
3 活荷重による挠度	400
4 死活兩荷重による最大挠度	400
5 反り	400

附 錄

電弧鎔接鋼構造物設計及製作示方書案 1~11

—(目次終)—